

学校・家庭・地域との連携による豊かな心と健やかな体の育成

～体験活動の充実をめざして～

長門市立通小学校 PTA

PTA名称	長門市立通小学校PTA	
所在地	山口県長門市通1211番地1	
学校地域の概要・組織	<p>本校は、長門市青海島の東端に位置し、周りを海に囲まれる自然環境に恵まれた場所にある。児童数16名、学級数3、完全複式学級の小規模校であるが、保護者や地域の方々の多くの支援に支えられ、特色を生かした様々な体験活動を通して、地域に根ざした教育活動を展開している。</p> <p>明治7年「通小学校」として創立した本校は、多くの卒業生を輩出しながら、3年後には150周年という記念すべき時期を迎える。児童数減少が進むなか、地域の中で小学校が存続していくことの意義は大きく、今後地域での教育活動を今まで以上に充実させるとともに、通小学校・通地区のよさを広く発信し、地域の活性化や地域づくりに貢献していくことが重要な責務となっている。</p> <p>また、地域とともにある小中一貫教育「長門みすゞ学園」において、「通・仙崎みすゞ学園（仙崎中学校区）」では小・小連携、小・中連携、中学校区での合同学校運営協議会等を行い、共通した目標のもと、地域で連携した学校教育の充実を図っている。</p>	
研究テーマ	<p>昨年度末から新型コロナウイルス感染拡大予防として様々な対策がとられ、令和2年度に入っても継続されてきた。そのため、本校の一大行事である遠泳大会も止む無く中止となる中、小規模校のよさを生かし、コロナ禍でもできるPTA活動の在り方とその充実を探ってきた。そこで本年度のPTA活動のテーマを『学校・家庭・地域との連携による豊かな心と健やかな体の育成 ～体験活動の充実をめざして～』と設定し、子どもたちのために、例年もしくはそれ以上の充実したPTA活動を行おうと、活動計画を協議し、一丸となってその実践に努めることにした。</p>	



<p>成果と課題</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>○感染症への対策をとりつつ、常任委員会を開き、実施可能なPTA行事・活動について協議を重ねた。感染拡大につながりそうな内容は中止や縮小をし、それに代わる内容を考えようと様々なアイデアが出された。</p> <p>○通小オリジナルTシャツづくりが活動の一つとして決定すると、児童、PTA部会、学校がそれぞれのよさを出し合ってTシャツを作り上げることができた。子どもの思いがしっかりとつまったTシャツ作成は、コロナ禍でもできるPTA活動の成果の1つだと言える。</p> <p>○例年行ってきた地引網を、今年も無事実施することができた。公民館との共同開催はこの他にも地域合同文化祭があり、事前の打合せ、準備、会場の下見など連携しながら進めることで、円滑な運営を行うことができた。また、地引網では他地域の児童・保護者を招待し、通のよさを知ってもらうことができたのはよかった。</p> <p>○常任委員会等で決定した内容を随時学校メールで配信した。PTA活動に熱心で協力的な保護者が多く、コロナ禍にありながらもその結束はさらに高まったと感じる。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○本年度常任委員会で協議を重ねたことは大きな成果へとつながった。これからも、学校の実情に合わせた協議を進めながら、PTA行事・活動の計画・運営に当たっていかなければならない。</p> <p>○学校存続のためにも、児童数・家庭数の増加は喫緊の課題である。今後学校と保護者がしっかりとつながってPTA活動を進め、更に地域と連携・交流をしたり、よさを広く発信したりしながら、教育活動の充実に取り組んでいかなければならない。</p>
<p>活動内容</p>	<p>1 夏のイベントの実施</p> <p>コロナ禍により本校の一大イベントである遠泳大会が中止となり、地域行事であるくじら祭りも中止となるなど多くの行事が制限された。6月に入るとPTA常任委員会を開き、子どもたちのための行事「夏のイベント」について協議した。子どもたちの希望を聞きながら、その実現に向け活動内容の検討を行い、6月・7月で準備を進めた。</p> <p>感染症対策をとりながら、7月25日・26日に、1泊2日の夏のイベントを開催した。1日目は、学校から徒歩10分で行ける大越の浜へ行き、遠泳大会に代わる距離を縮小した遠泳や、低学年も楽しめる水遊びなどを行って楽しんだ。その他の活動として、キャンドルづくり、火起こし体験、キャンプファイヤー、2日目はラジオ体操や早朝散策も行われた。</p> 

## 活動内容

縦割り班ごとで活動し、主体的な発表の場や活動の振り返りの場を設け、思い出を共有すると同時に友達同士のきずなも深まった。  
各部が役割をもって事前の準備や当日の運営にあたり、おやじの会の支援もあって、充実した行事となった。

### 2 地引網体験活動・交流会の実施

本年度は10月24日の地引網体験活動に、本校児童が所属するスポーツ少年団の他校児童とその保護者を招待した。地引網体験は公民館との連携行事でもあり、事前の打合せ、準備等、安全面を特に配慮しながら進めていった。当日は、地元橋会の協力のもと地引網体験が行われた。事前に仕掛けられた網の両側に、参加児童が2グループに分かれ、網を引っ張った。声を出し、元気に活動する子どもたちは、網にかかった多くの魚に歓喜の声をあげ、その場で保護者から魚の説明を聞くなど、充実した体験となった。

その後、学校で交流会が開かれた。地引網でとれた魚を使った「魚さばき体験」や「火起こし体験」などの活動が行われた。他校の児童と異学年のグループを作り、集団で協力し合い、楽しみながら活動に取り組んだ。自分たちでとった魚をさばき、火を起こして食べるという一連の活動をやり遂げることで、大きな達成感を得ていた。



今回、他校の児童を招待し、様々な活動を共に体験することを通して、交流を深めるとともに、通のよさを知ってもらういい機会となった。

### 3 通小オリジナルTシャツの作成

助成金の活用方法が通小オリジナルTシャツ作りに決まると、まず児童がそのイラスト等のデザインを考えた。複数のイラスト、文字などのアイデアが出され、児童の希望を聞いて、候補が選定されていった。次に広報部会がTシャツ業者の選定、色や素材決定を行うなど、作成のまとめ役となった。学校は業者交渉や購入希望調査等の調整を行った。

子どもの思いが詰まったオリジナルTシャツが出来上がり、それらを地域の合同文化祭で披露したり、タグラグビーの練習試合・交流大会において着用し、プレーしたりすることで、通小学校としての所属感と結束力を高めることができた。



<写真・資料>

・夏のイベント 7月25日(土)・26日(日)



遠泳・海遊び



キャンプファイヤー

・地引網体験、交流会 10月24日(土)



地引網体験



魚さばき体験

・通地区合同文化祭 11月8日(日)



Tシャツ作成記念写真



文化祭でのPTA活動